

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			十分なスペースが確保できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	☐			連携を密にして、申し送りの徹底や状態把握を適切に行うよう留意している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		☐		設備改修が困難なため、適切な介助を行い、フォローする。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		☐		CAを強化し、行ったPDが無駄にならないようにしたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			アンケートや面談、日々の送迎時の申し送り等で、保護者様の意向の把握に努め、改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			平成31年3月より、HP上で公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		☐		第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		☐		新しい職員に対しては、適宜特性などについての申し送りを行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☐			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐			複数の職員で話し合い、アイデアを出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	☐			月間プログラム表を作成し、曜日が重複しないよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		☐		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	☐			他の業務で打ち合わせに参加できない職員も含め、ノート及び掲示板を活用し、広く確認できるよう改善に努める。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		☐		ノート及び掲示板を利用し、職員どうしの共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☐			業務日報・連絡帳等の記録を残し、日々の支援に繋げている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	☐			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	☐			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	☐			日ごろから関わりの深い職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	☐			日々の送迎時の申し送りや電話連絡等で適宜情報を共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		☐		現時点では該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	☐			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	☐			切れ目ない支援を行えるよう適切に情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	☐			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	☐			定期的に児童館を利用し、個別に学童の利用を提案している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	☐			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐			連絡帳や、日々の送迎時の申し送りを通じて共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		☐		
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			その場で助言・支援を行うとともに、職員間でも共有し、多面的かつ多角的な支援を行うよう努めている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		☐		個別に横のつながりを持っている事例はあるが今後全体として連携できないか模索したい。

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合、直ちに適切な対応をとり、経過を児童及び保護者へ通知している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月のプログラム表で予定を通知するとともに、活動の様子は都度、写真を添えて伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			紙媒体・電子媒体に関わらず、適切に処理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相手が受け取りやすいよう配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の祭礼に参加している。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月の避難訓練に加え、防災意識を高めるため、事業所外活動などを通じて防災センターなど外部の施設を利用している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		虐待のシグナルを見逃さないよう注意するとともに研修機会の確保に努めたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現時点で該当者なし
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から、情報提供を受け、配慮している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		口頭でも共有のみならず、記録の作成を急ぎたい。

事業者向け 児童発達支援自己評価表（案）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			訳50㎡確保できている。
	② 職員の配置数は適切であるか	☐			適切に配置している
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		☐		入口に段差はあるがスペースはフラットになっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	☐			職員会議を定期的に開いている。
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			今年度のアンケートは実施済。今後業務改善につなげていきたい。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			☐	公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	☐			第三者評価は行っていない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			可能な限り、研修に参加している。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	☐			運営規程に沿って実施している。
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☐			児童発達支援向けのアセスメントツールを使用している。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	☐			ガイドラインに基づいた支援を行っている。
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	☐			定期的に職員会議を開き、支援の確認を行っている。
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐			個人個人で意見を出し合い、最終的に職員全員で話し合っている。
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	☐			月間プログラム表を作成し、曜日を重複しないよう工夫したり、季節行事を取り入れたり等をしている。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	☐			集団プログラムの他、個別のプリントや療育グッズを用意している。

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		短い時間の話し合いで十分とは言えない。送迎時間などの関係上できてない日もある。時間を確保するよう努めたい。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	終了時に全員揃わないため個別記録記入により申し送りをしている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌に記録している。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリングを実施し、見直しを行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が参加している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		現時点では該当者なし。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現時点では該当者なし。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現時点では該当者なし。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	情報共有に向けては今後の取り組み課題としている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	今後検討課題としている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて連絡を取り合っている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	特に機会は設けていないが、検討課題としている。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	特に機会は設けていないが、検討課題としている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやり取りライン利用してのやり取り及び送迎時に情報交換している
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			○	相談には応じているが、ペアレントトレーニングができていないとは言えない。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			利用開始時に説明している。
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	☐			
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			相談に応じ、悩みが解決できるよう努めている。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			☐	今後開催を検討している。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☐			できる限り対応するよう努めている。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	☐			会報はないが、facebookでの掲載や月間プログラムを配布している。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	☐			鍵付き書庫で管理している。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	☐			出来る限り配慮するよう努めている
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			☐	連絡帳でのやり取りライン利用してのやり取り及び送迎時に情報交換している
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	☐			場面に応じ、プリントを配り訓練を行っている。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	☐			毎月、避難訓練を行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	☐			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	☐			アセスメント時に保護者にアレルギーについて確認し、医師の指示に従っている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	☐			ヒヤリハット報告書を作成して、共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	☐			職員会議で確認しあっている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	☐			ヒヤリハット記録とともに残している。